

## 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

番号	1	質問者	淵 本 稔		平成28年6月10日
質 問 事 項				質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1 防災体制の強化を				<p>(1) 災害が少ないと思われている朝来市だが、油断が一番危険。最悪を考えた災害対応で、養父断層と山崎断層が同時に動いた直下型地震や、台風やゲリラ豪雨による大雨洪水・急傾斜崩壊が起きた場合等、どのような災害を想定しているのか。</p> <p>(2) 市内で危険箇所はどのくらいあるのか、地区から具体的な要望はどれだけ上がってきているのか。</p> <p>(3) 万一、市内で大災害が起きた場合、避難誘導、避難所の体制、罹災証明の発行体制、ガレキの撤去方法、仮設住宅用地の確保等、どのような取り組み計画を立てているのか。</p> <p>(4) 熊本地震で、一番有効だった個人の通信手段はSNSだった。市内で、対応する計画はあるのか。</p>	市 長
2 市独自の大学等奨学金制度の創設が必要				<p>(1) 子どもの6人に1人が貧困、一人親家庭の子は5割が貧困と言われる中で、経済的理由により進学を断念させることがあってはならない。子育て支援、若者の定住のためにも大学等奨学金・入学支度金制度が必要だ。市内の社会的弱者を支援するためにも、早急な制度創設を求めるが、いつから取り組むのか。</p>	市 長 教育長
タ イ ト ル		防 災 体 制 の 強 化 を 求 め る			

### 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

番号	2	質問者	木村圭介	平成28年6月10日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1 買い物支援の対策を、どう考えていますか。			(1) 高齢者が生きがいを持って生活されるために、何が必要と考えますか。 ①高齢者等が地域から孤立を防ぐ必要性があると考えますが。 ②高齢者の方々の生活の中での不安要素は何とお考えですか。 ③高齢者の生活の中で困っておられる事柄は何かと考えますか。 (2) 現状の買い物支援の対策はどうなってますか。 ①どれくらいの要買い物支援者数を想定されていますか。 ②具体的な施策はどのようなことがありますか。 ③どのような施策が必要と考えますか。 (3) 行政としての買い物支援の対策をどう考えますか。 ①現場に即した対応が必要と考えますが。 ②継続できる買い物支援対策が必要と考えますが。		市長
タイトル		買い物支援の対策をどう考えるか			



## 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

番号	3	質問者	西本英輔	平成28年6月10日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1	多子世帯の保育料負担軽減について		<p>(1) 多子世帯を対象とした保育料の負担軽減が実施されている。過去の実績と現在、何世帯が対象になっているのか。</p> <p>(2) 2号・3号認定では「小学校就学前までの範囲で、同時にこども園等に入園されている場合、2子目は半額、3子目以降は無料」とあるが、「同時にこども園等」というのは『同一施設に』という意味か。</p> <p>(3) 同時に在籍しなければならない理由は何か。</p> <p>(4) 多子世帯の保育料軽減を実施する目的は何か。</p> <p>(5) 対象を拡充し、県支出金で実施されている多子世帯保育料軽減事業と同じようにはできないか。</p> <p>(6) 国も平成28年度に幼児教育無償化の段階的取組を実施するようだが、その内容と県の動向を分かる範囲で、またそれらを受けて市としては今後どう対応していく考えなのか、教えていただきたい。</p>		市長 教育長
2	教育・保育施設への入園選考基準について		<p>(1) 市内教育・保育施設に入園を希望する際のプロセスを、新年度募集時と中途時期それぞれご説明いただきたい。</p> <p>(2) 入園の選考は市が行っているのか、それとも各施設が行っているのか。</p>		市長 教育長
タイトル		教育・保育施設について			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
	<p>(3) 朝来市内では待機児童数は0であるが、希望する施設に入れなかったケースもあると聞いている。市全体でどのくらい、またどのようなケースがあるのか。</p> <p>(4) 希望する保育施設に入れたいケースがあることを、どう考えておられるのか。</p> <p>(5) 希望する保育施設に入れたいケースがある場合、是正すべき点はあるのか。またその場合、どのように対応しようと考えておられるのか。</p>	市 長 教育長
3 保育士の処遇について	<p>(1) 全国的に保育士不足が問題になっているが、市内の保育士は足りているのか。</p> <p>(2) 市内教育・保育施設の正規職員と嘱託職員の比率はどのくらいで、その平均在籍年数、離職率はどの位か。</p> <p>(3) 公立、私立で市内保育士の給与にどのくらい格差があるのか。</p> <p>(4) 国が給与面の改善施策を、また独自に保育士の給与補助等の待遇改善施策を実施している自治体もあるが、朝来市として考えておられることはあるのか。</p>	市 長 教育長

## 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

番号	4	質問者	小 出 信 篤	平成28年6月10日	
質 問 事 項			質 問 要 旨		答弁を 求める者
1	観光政策の将来ビジョンについて		<p>(1) 朝来市第2次総合計画において、朝来市の強みを生かした観光振興を図るため、竹田城跡や生野鉦山跡などの貴重な遺跡や産業遺産を前面に出し推進するとされているが、観光振興の現状と観光政策を進める上での問題点を伺う。</p> <p>(2) 第2次総合計画策定時、最終年度である平成29年度の観光入込客数の目標値を133万人とされている、既に、27年度の確定値は出ていると思うが、朝来市への入込客数、並びに過去3年の観光客伸び率、並びに27年度の竹田城跡、生野鉦山跡の入込者数について伺う。</p> <p>(3) 将来に向けての朝来市の観光振興を考えれば、既存の遺跡、産業遺産、施設に固執せず、新たな観光資源の開発は不可欠と考えるが、市長のご所見を伺う。</p> <p>(4) 市内には恵まれた豊かな自然や自然環境がある、これら資源を生かし新しい観光スポットを開発する知恵が必要と考える。例えば、夜久野高原特有の自然景観を大いに活用すべきと考えるが、市長のご所見を伺う。</p> <p>(5) 全国には多くの花の名所があり、それぞれ観光資源として活用し観光客誘致に生かしている、花畑づくりは有効な観光開発と考えるが、市長は如何お考えか伺う。</p> <p>(6) 観光客が増加しても、経済への波及効果がなければ市は潤わない、将来に向けての、観光産業の掘り起こし策について伺う。</p>		市 長
タイトル		観光政策に新たな資源開発を			

## 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

平成28年6月10日

番号	5	質問者	波多野 優		
質問事項				質問要旨	答弁を 求める者
1	朝来市版DMOについて			(1) DMOとはどのような組織なのかお聞きします。 (2) 国の支援制度はあるか。 (3) 朝来市版DMOの取り組みはどうするのか。 (4) DMO設置の方針。 (5) 組織構成についての考え。 (6) 運営資金についての考え方。 (7) 今後のスケジュール。	市長
2	自然景観の保全について			(1) 朝来市内の自然景観についての所感をお聞きします。 (2) 夜久野高原の自然景観に対する評価。 (3) 自然景観保全と太陽光発電システムについての見解。 (4) 自然景観保全のための方策。 (5) 開発行為で地元合意を必要とする地域を指定してはどうか。	市長
3	土地利用について			(1) 地域の特性を活かした効率的な土地利用はできているか。	
タイトル		朝来市版DMOについて			

## 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

番号	6	質問者	能見 勇八郎	平成28年6月13日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1	夏季、冬季の観光について		(1) 夏季の観光政策をどう進めるか。 ①夏季における観光の現状はどうか。 ②朝来市キャンプ場条例を見直す必要はないか。 (2) 冬季の観光政策をどう進めるか。 ①冬季における観光の現状はどうか。 ②銀山湖周辺の整備について伺う。		市長
2	日本遺産について		(1) 日本遺産登録の再挑戦をどのようにして行うか。 ①日本遺産とはどのような制度か。 ②昨年の失敗をどのように考えるか。 ③今年はどのように取り組むか。		市長 教育長
3	観光とゴミ問題について		(1) 観光によって排出されるゴミの処理をどうするか。その処分は観光客に対する必要なサービスでないか。		市長
タイトル		観光の諸問題について			

## 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

番号	7	質問者	吉 田 俊 平	平成28年6月13日
質 問 事 項		質 問 要 旨		答弁を 求める者
1	朝来市の将来ビジョンについて	(1) 10年後の市のあるべき将来ビジョンを描けているか。		市 長
2	少子化対策について	(1) 今後の少子化対策として最も重要な事は何か。		市 長
3	経済について	(1) 現在と将来を見通し、どのような雇用を創出すべきか。		市 長
4	高齢化対策について	(1) これからの高齢者施策体系はどうあるべきで、何を目指すべきか。 (2) 地域包括ケアセンターについて、市と近隣自治体の人員基準と実人員はどうなっているか。		市 長
5	行政改革について	(1) 行政改革とは何か。 (2) 継続的な発展を維持するための投資的経費を如何に確保するか。 (3) コンプライアンス条例を制定すべきと考えるが、どうか。		市 長
タ イ ト ル		市 の 将 来 ビ ジ ョ ン を 描 け ！		

## 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

番号	8	質問者	岡田和之	平成28年6月13日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1 子どもの貧困率の増加について			<p>(1) 2013年6月に子どもの貧困対策の推進に関する法律が全会一致で成立しました。</p> <p>昨年政府が発表した2012年の子どもの貧困率は16.3%となっており、約6人に1人の割合です。1985年の10.9%から大きく増加しています。</p> <p>この数字は、OECD(経済協力開発機構)に加盟する34カ国中、下から10番目に悪い数字です。また、母子世帯等大人が一人世帯の貧困率は54.6%であり、深刻な事態となっています。</p> <p>私は、子どもの貧困率の増加は、子どもの将来が、生まれ育った環境によって左右され、貧困の連鎖、拡大を招く恐れが高いと考えます。</p> <p>子どもの貧困率の増加についての市長の感想をお尋ねします。</p> <p>(2) 朝来市の子どもの貧困率はどの程度と推計されるのかお尋ねします。</p> <p>(3) 子ども貧困対策の推進に関する法律第4条では、地方公共団体の責務として「地方公共団体は、基本理念にのっとり、子どもの貧困対策に関し、国と協力しつつ、当該地域の状況に応じた対策を策定し、及び実施する責務を有する」とされています。</p>		市長 教育長
タイトル		子どもの貧困率増加は深刻な事態			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
	<p>また、第10条では教育の支援を定め、「国及び地方公共団体は、就学の援助、学資の支援、学習の支援その他の貧困の状況にある子どもの教育に関する支援のために必要な施策を講ずるものとする。」としています。第13条では経済的支援を定め、「国及び地方公共団体は、各種の手当等の支給、貸付金の貸付けその他の貧困の状況にある子どもに対する経済的支援のために必要な施策を講ずるものとする。」と明記しています。市長はこれをどう受け止め、どのように具体化されるのかお尋ねします。</p>	
2 税の滞納に対する行政サービスの制限について	(1) 市民に対しどのような対応をしているのかお尋ねします。	市 長
3 オバマ大統領の広島訪問について	<p>(1) 5月27日、主要7か国首脳会議終了後、現職の米国大統領として初めて被爆地ヒロシマを訪問したオバマ大統領は、米国など核保有国は「核兵器のない世界を迫及する勇気を持つべきだ。」と演説しました。</p> <p>朝来市平和都市宣言を定めた市長としてどのような評価をされるのかお尋ねします。</p>	市 長

## 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

番号	9	質問者	鈴木逸朗	平成28年6月13日	
質問事項			質問要旨		答弁を 求める者
1	国民健康保険の都道府県化について	<p>(1)都道府県化でどのようになるのか。これまで市町村が担っていた国保の ①財政運営、②保険料の決定・賦課・徴収、③資格管理、④保険納付、⑤保健事業は、主にどこが担うようになるのか。</p> <p>(2)「都道府県国民健康保険運営方針策定要領(案)」、いわゆるガイドラインが示されたが、県が主に行う四つのこととは何か。</p> <p>(3)市が県に納める事業費納付金とはどのようなものか。</p> <p>(4)事業費納付金算定における医療費水準、所得水準による調整は市民にどのような影響を与えるか。</p> <p>(5)事業費納付金に基づいて標準保険料率が示されるが、それぞれどのようなものが示されるのか。</p> <p>①都道府県標準保険料率 ②市町村標準保険料率 ③各市町村の算定基準に基づく標準保険料率</p> <p>(6)市の保険料決定へどのように取り組むのか。</p> <p>(7)現在の国保特別会計の基金はどのようにするのか。</p> <p>(8)市独自の一般会計法定外繰り入れはどのようにするのか。</p>		市長	
タイトル		国保広域化で市民生活への影響は			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2 介護保険制度について	(1)新総合事業のモデル事業実施要綱は準備できたのか。 (2)モデル事業実施後、どのように新総合事業に移行していくのか。 (3)シルバー人材センターや介護事業所は対応できるのか。	市 長

### 第13回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	10	質問者	上田幸広	平成28年6月13日		
質問事項				質問要旨		答弁を 求める者
1	18歳選挙権について	(1) 市民・新有権者に対する啓発活動・周知徹底について市の取組みの現状についてお伺いする。 (2) 若者の政治的関心を高める施策について市長の御所見をお伺いする。 (3) 小・中学校における主権者教育についての取組みをお伺いする。		市長 教育長		
2	手話言語条例について	(1) 朝来市において手話言語条例を制定すべきと考えるが市長の御所見をお伺いする。 (2) 小・中学校では、手話についてどのような取組みがされているのかお伺いする。 (3) 視覚障がい者の支援として、読み書き支援について市長の御所見をお伺いする。 (4) 高齢者・外国人に対する「わかりやすい日本語」を使用する必要があると考えるが、市長としての御見解をおたずねする。		市長 教育長		
3	食品ロスについて	(1) 食品ロスの削減について、市としてのこれまでの取組みと今後の展開について御所見をお伺いします。 (2) 先進地である松本市の「残さず食べよう！30・10（さんまる・いちまる）運動」に対する評価についてお伺いします。 (3) 朝来市としても「30・10運動」を採り入れてはどうか。		市長 教育長		
タイトル		手話言語条例の早期制定を！				

## 第18回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問)

平成28年6月14日

番号	11	質問者	日下茂	
質問事項		質問要旨		答弁を 求める者
1		銀山町の観光ビジネス構築モデル事業	(1) 鉦山町の観光ビジネス構築モデル事業の目的と成果は。 (2) コンサルの選定について。	市長
2		業務パソコンのシステムの選定	(1) Windows 7かWindows 8.1かWindows 10か。 (2) 今後アップグレードするのか。 (3) ハード、ソフトとも新規購入するのか。	市長
3		観光客と経済波及効果	(1) ゴミが増えるが金が増えない。市長の対策案は。 (2) ふるさと納税や、クオカード等の活用を更に進めるべき。 (3) 観光客をターゲットに、電化など、播但線のいろいろな整備を姫路市と協議すべき。	市長
タイトル		観光ビジネス構築事業は本物か？		